

基本問題・影響調査専門調査会
女性と経済ワーキング・グループ（WG）
今後の進め方について（案）

ワーキング・グループにおいて取り組む内容

「女性の活躍による経済社会の活性化」（中間報告）に沿って、女性の活躍が経済社会の活性化に不可欠であることの共通理解を深めるため、数値データや好事例等を分かりやすく提示するとともに、女性の活躍推進方策について更なる検討を行う。

当面の調査の具体的内容

- （１）データ分析、事例収集作業を、それぞれ平行して進める。最終報告の取りまとめにあたっての議論の参考資料とするため、それぞれの進捗や調査内容等について今年中に２回程度、WG に報告を行う。
- （２）それぞれの作業は、女性と経済 WG 委員、事務局に加え、調査内容に応じた有識者にも参集を求める。

今後の調査スケジュール

第 6 回	9 月 27 日（火）開催 （15：00～17：00）	今後の進め方 新任委員からのプレゼンテーション 有識者からの報告講演 自由討議
第 7 回	11 月 25 日（金）予定 （15：00～17：00）	データ分析、事例収集の進捗等報告 自由討議
第 8 回	12 月 20 日（火）予定 （15：00～17：00）	データ分析、事例収集の進捗等報告 報告書とりまとめに向けた議論
第 9 回	1 月初中旬	報告書とりまとめに向けた議論

今後の作業テーマ(案)

新たな分野や働き方における女性の活躍

成長と女性<Growth>

事業創造<Business, Access to Capital & Markets>

- どのような産業でどのような事業が創造されているか。
- 女性の活動や貢献の状況はどうか。

雇用創出<Job>

- どのような特徴の企業を支援することが、より効果的な雇用の創出につながるか。
- 女性の雇用の増減等と、それに影響する要因等について。

需要創出<Demand>

- 共働き世帯の増加は、どのような消費を生み出すか。

制度・慣行、意識

税・社会保障

<Tax, Social Security>

- いわゆる「103万円の壁」「130万円の壁」による影響は、どのような世帯にどのくらい及んでいるか。

女性の活躍による
経済社会の活性化性別役割分担意識

<Mindset> <Leadership>

- 男女の家事・育児分担や職業生活を大事にすべきと学んだ人の現在の働き方。
- 仕事をもつことと自尊感情の高まり。

多彩な選択を可能とする教育やキャリア形成

能力構築

<Capacity and Skills Building>

- 女性の職業選択や就労継続と、教育・キャリア教育の影響などについて。

家庭内のパートナーシップ

<Partnership>

- 女性の就業継続や常勤確率を高める家庭内のパートナーシップのあり方はどのようなものか。
- 男性の家事・育児参加を増やす要因はどのようなことか。

起業家精神<Entrepreneurship>

- 起業に対する意識はどのように変化しているか。
- 様々なライフステージ、様々な場において起業家精神を発揮したきっかけはどのようなことか。

貧困の削減<Inclusion>

- 近年の経済社会の変化の中で、経済的困難を中心により厳しい影響を受けたグループの特徴について。
- またそれらの背景としてどのようなことが考えられるか。